

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年12月12日掲載

1年2組 平井 泉咲

「大切な祭りを絶やさぬよう」

先日僕達の学年では、校区の4地区の神社の宮司の方々をお迎えし「地域に伝わる伝承行事を学ぼう」という学習をしました。その際、実際に行われている祭りの映像を見たり、宮司の方々から祭りについてのお話を聞いたりしました。その中で、僕が思ったことが2つあります。

1つ目は、「祭りの大切さ」です。祭りは楽しくて活気のあるもので僕も大好きです。また、祭りには色々な意味が込められているということを学びました。しかし、最近は祭に必要な人手が足りないとのことでした。それを聞いて僕は「数年後には祭りがなくなってしまうのかな」と心配になりました。

2つ目は、「地域の方々の思い」です。お話の中で、「祭りをやってほしい」という地域の人達の声があるということを教えてもらいました。「やっぱり地域の人達にとっても祭りは大切な行事なのだな」と思いました。

今年はコロナウイルスの流行で僕の住んでいる地区でも祭りが中止になってしまいました。そのせいで、毎年聞こえていたお祭りのおはやしや太鼓の音、おみこしを担ぐ声が聞こえず少し寂しい年となってしまいました。今回の学習で、僕は「祭りは大切な文化で、町の財産だから無くしてはいけない」と思うようになりました。毎年行われている祭りの灯を絶やしてしまわないように僕も自分のできることを探していこうと思います。